

令和3年2月5日

加東市長 安田正義様

加東市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会

委員長 武田卓也



加東市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画の策定について（答申）

令和元年11月12日付け諮問第11号で諮問のあった標記のことについて、本策定委員会で慎重に審議し、別紙のとおり取りまとめ、ここに答申いたします。

今後、高齢化が一層進行することに伴い、支援を必要とする高齢者が増加することが予想される中、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる令和7（2025）年、さらに、団塊ジュニア世代が65歳以上の前期高齢者となる令和22（2040）年を見据え、高齢者の地域での生活を支える地域包括ケアシステムのさらなる推進や地域づくり等を一体的に取り組み、地域共生社会の実現を図っていく必要があります。

それには、高齢者の社会参加の促進や生きがいきづくり及び介護予防を推進し、できる限り在宅生活が継続できるように、高齢者やその家族を地域で支え合う環境づくり及び介護保険事業の円滑な運営と充実を図ることが不可欠です。

本答申では、以上のことを鑑み、3つの基本目標に従って様々な施策について提言し、次の施策を重点施策として位置付けました。

- (1) 高齢者の社会参加の促進や生きがいきづくりを推進し、地域活動を担う人材の育成や活躍の場を充実させる「介護予防と高齢者の生きがいきづくりの推進」
- (2) 誰もが安心して暮らせるように、相談支援の充実や家族介護者と認知症高齢者への支援の充実、地域の課題解決に向けた取組、生活支援サービスの充実、在宅医療と介護の連携を推進する「地域包括ケアシステムの推進」
- (3) 介護を必要とする人へのサービス提供基盤を充実するとともに、介護保険制度の持続可能性の確保に向けて介護保険サービスの質の向上や適正利用の促進、介護人材を確保する「介護保険制度の健全かつ円滑な運営」

以上の施策を重点的に展開し、本計画の基本理念である**《地域で支え合い 笑顔がやく 元気な加東》**の実現に取り組んでくださるよう要望いたします。